

13a ケースに学ぶITプロジェクトにおけるリスクマネジメント

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	麻生教育サービス(AES)講師：山口 新吾
・開催月日	2025年10月16日(木)・10月17日(金)
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30（7時間/日）・2日間(14時間)
・受講料(税別)	94,560円
・教材料(税別)	6,000円

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

プロジェクトは、品質・コスト・納期など、厳しい制約条件の上で受注せざるを得ないことが多々あります。本コースでは、ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントの考え方を習得し、ケーススタディを通して、実践の場で注意すべきリスクの視点を養い、どのように対策を打つべきかを習得します。

1.ITプロジェクトを取り巻く状況、2.プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントの位置付け、3.リスクマネジメントのプロセス、4.リスクマネジメント計画、5.リスクの識別、6.リスクの定性的分析、7.リスクの定量的分析、8.リスク対応計画、9.リスクの監視・コントロール、10.PJ終結時における教訓の記録と共有

4. カリキュラムの詳細

2日間(14時間)

	科目	時間	科目の内容
10 月 16 日	1.ITプロジェクトを取り巻く状況	1.0hr	●厳しさを増すITプロジェクト環境 ●日本におけるシステム開発PJの成功率 ●成功するプロジェクトを増やすには
	2.プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントの位置づけ	1.0hr	●プロジェクトリスクとは ●PJ全体像とリスクマネジメント ●リスクマネジメントの必要性和効果 ●ITプロジェクトのリスク実例
	3.リスクマネジメントのプロセス	1.0hr	●PMBOKにおけるリスクマネジメントの流れ ●リスクマネジメントの実例
	4.リスクマネジメント計画	0.5hr	●PJ計画の中でのリスクマネジメント
	5.リスクの識別	0.5hr	●リスクの表現 ●リスク識別のツールと技法 ●ITプロジェクトの分類別のリスクの視点
	【演習1】 プロジェクト立ち上げ段階での リスク識別	3.0hr	◆演習問題説明／演習／発表

	科目	時間	科目の内容
10 月 17 日	6.リスクの定性的分析	1.0hr	●定性的分析のリスクスコア算出方法 ●リスク評価尺度の例 ●発生確率・影響度マトリクス
	7.リスクの定量的分析	0.5hr	●リスクの定量的分析の方法 ●定量的分析の効果と重要性
	8.リスク対応計画	1.0hr	●予防対策と発生時対策 ●リスク対応策の立案方針 ●リスク管理表の記述例
	9.リスクの監視・コントロール	0.5hr	●リスク監視・コントロールの狙い ●リスク管理表の維持
	【演習2】 プロジェクト遂行中のリスク識別 と対応策検討	3.0hr	◆演習問題説明／演習／発表
	10.PJ終結時における教訓の 記録と共有	0.5hr	●組織内での教訓共有
	11.まとめ、総括	0.5hr	●まとめ
	計	14.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ①オリジナルテキスト

6. 到達目標

ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントの計画およびその管理ができるようになる。

7. 講座レベル

ITSSレベル:2～3